

高岡地域自治区



ビタミンの父 高木兼寛
(1849年-1920年)

地域魅力発信プラン



「大好きなまち高岡」を目指して

高岡地域では、平成24年度から25年度にかけて、「将来の高岡のあるべき姿に近づけるよう推進する」という考えの基に、地域魅力発信プラン「きらり高岡未来計画」を策定し、平成26年度から中期5か年計画として取り組んできました。

取組から5年目を迎え、地域協議会では地域魅力発信プラン見直し検討委員会を設置し、高岡まちづくり委員会や高岡中学校などと連携しながら、ワークショップにより、基本計画と中期5か年計画の検証を行いました。

その結果、あらためて、将来の高岡のあるべき姿「大好きなまち高岡」を目指すため、3つの「基本目標」による新たな「高岡地域自治区地域魅力発信プラン」を策定しました。

高岡地域自治区地域協議会

高岡地域自治区 地域魅力発信プラン

計画期間

計画期間を2019年度から2023年度までの5年間とし、計画期間が終了する時点で、達成度や社会情勢、地域の現状に応じて見直すものとします。

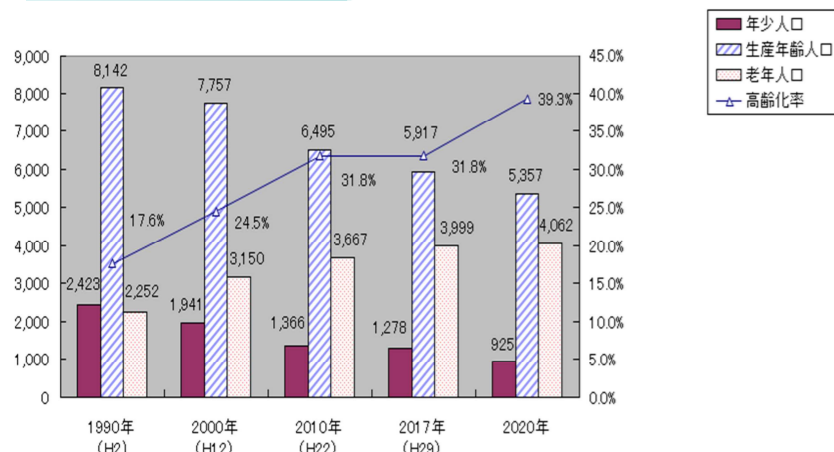
地域の特徴

- 宮崎市の西部に位置し、市面積の約22%を占める。
- 国道10号、国道268号をはじめ、県道9本など、交通の要所となっている。
- 「天ヶ城公園」や「去川のイチョウ」、「月知梅」、「穆佐城跡」、「武家門」など、伝統文化や歴史、自然が数多く残っている。
- 天ヶ城体育館、野球場をはじめ、サンスポーツランドなど各種スポーツ施設が充実している。
- 自然に恵まれている一方、災害に弱い部分もある。

地域の現状と課題

- ☞高齢者、一人暮らしの増加
- ☞三世代の交流が少ない。
- ☞青少年の地域活動への参加が少ない。
- ☞公共交通機関が少なく不便である。
- ☞防災、減災の取組が必要である。
- ☞伝統文化などの継承が難しくなっている。
- ☞高岡の良さ（歴史、文化、自然など）を活用できていない。
- ☞農業後継者が不足している。
- ☞観光案内所が無い（情報発信不足）
- ☞高岡中心部の活性化
- ☞空き家、廃校舎などの有効活用

高岡地域の人口推計



基本目標

1 ともに支えあい
安心して暮らせるまち

2 地域資源を
活かしたまち

3 産業と観光のまち

取組内容

①生活支援の推進

- ・買い物支援（移動販売車の運行）などの運営方法についての検討【協働】
- ・乗合タクシー（高岡きずな号）の利用促進【地域】
- ・移住者を増やすための対策（子育て支援、空き家活用、移住促進体験ツアー）【行政】

②高齢者・障がい者のやりがい、生きがいの創造

- ・高齢者に対応できる訓練の実施（例：認知症見守り声かけ模擬訓練）【地域】
- ・ふれあい交流サロンの実施【地域】
- ・高齢者の持つ知恵、知識、特技などを伝える場の提供【地域】
- ・障がい者の社会参加に対する支援【協働】



ゲートボール大会

③防災、減災意識の向上

- ・各公民館で連携した防災訓練の実施や情報共有（例：防災リーダーの育成、地域の高齢者・要支援者の把握など）【協働】
- ・高齢化に関する情報把握、地域の見守り【協働】

④地域や子ども(学校)の連携強化

- ・地域、学校が協力した地域イベントの創設、子ども食堂の実施【地域】
- ・子どもの交通安全の推進【地域】



子どもつなぐ事業（子ども食堂）

⑤青少年の地域活動への参加

- ・青少年の地域活動への積極的参加（実行委員会、ボランティア）【地域】

⑥世代間交流の実施

- ・世代を問わず交流できる場の提供、機会の充実【地域】

①地域文化継承活動の充実

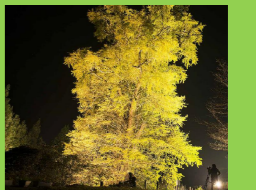
- ・伝統文化に関するイベント開催、継承活動【地域】

②歴史的まちなみの保存・活用

- ・イベント等でのPR、ガイドボランティア【地域】

③環境保全、美化活動の推進

- ・各公民館での植栽活動を通じた交流（ボランティアの活用や子ども会などへの声かけ）【協働】
- ・河川浄化の推進（ホタルなどを鑑賞できる名所づくり）【協働】
- ・子どもたちを対象にした希少植物観察会などの自然体験や農業体験の実施【協働】
- ・自然を楽しむためのコーディネーター設置【協働】



去川大イチョウライトアップ

①活気に満ちた農業の推進

- ・新規就農者への支援や農業の法人化推進【行政】
- ・就農希望者や市民農園としての農地等の貸し出し【行政】

②ビタミンの父 高木兼寛公のPR

- ・東京慈恵会医科大学との交流の推進やイベント等でのPR活動【協働】
- ・麦の生産や、海軍医カレーなどの商品開発及び定着化【協働】

③魅力あふれる観光地・特産品のPR

- ・地域の広報誌やホームページ、SNS、マスコミなどを活用した効果的な情報発信【地域】
- ・観光やイベント、特産品PRの場の充実【協働】
- ・たかおか産業まつりなどイベントの充実【協働】
- ・天ヶ城開門さくらまつりを活用した新たなイベントの創設【協働】
- ・廃校舎の利用（店舗や宿泊施設等としての活用）【協働】



天ヶ城開門さくらまつり

④高岡市街地の活性化

- ・空き店舗や土地の有効活用（若者が集まる店舗、企業等の施設を作る。）【行政】
- ・毎月1回の軽トラ市開催などの検討【協働】

【 】は、地域・行政・協働のいずれかの役割分担を表示。

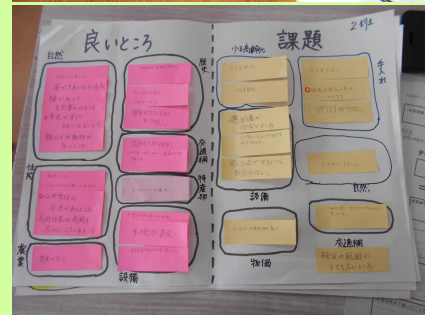
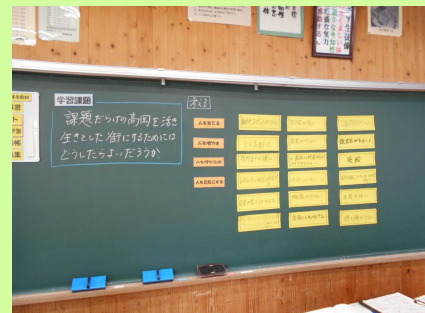
地域魅力発信プラン見直し検討委員会の取組

平成 30 年度に、高岡まちづくり委員会や高岡中学校の協力を得て、ワークショップにより、高岡地域の現状や課題等について協議を重ねました。

■ 検討委員会のワークショップ



■ 高岡中学校のワークショップ



地域魅力発信プラン推進体制

